京城日報
十五日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）

更に浦鹽へ遣艦
日英米の軍艦四隻

十五日日本軍艦新に一隻並に米國軍艦二隻英國軍艦一隻浦鹽に入港せり從つて市中は平穩なり（哈爾賓特電）

クリレンコ將軍の旗擧げ
獨逸攻撃に備へん旨布告す

過激派總司令官クリレンコ將軍は革命軍を起し獨逸軍攻撃に備へん旨布告せり（露都特電）

ウ過兩軍大激戰

エカンリノスクウにてウクライナ軍と過激派軍との間に大激戰ありたり（露都特電）

石軍湖北軍衝突

十日宜昌附近にて石星川軍と湖北軍との間に大衝突あり爲めに宜昌は大恐慌を來し商店は悉く閉鎖せり（上海特電）

李軍事會議召集

辭表を提出せる江蘇督軍李純氏は軍事會議を召集せり（北京電報）

露國武官南行

露國一等大尉セルゲイ、アムブラシサンセール氏は公務を帶び英佛へ向ふ途次十四日午後六時半安東通過長崎に向へり（安東特電）

村滿鐵理事東上

村滿鐵理事は十五日午前九時三十分發安奉線にて朝鮮線由東上せり（安東特電）

大田理事通過

大田鮮銀理事は十五日午前七時半安東通過京城へ向へり（安東特電）

滿鐵組織の大改正
本社を理事長室總務部計理部鑛業部地方部に大別し新に大連管理局を設置

【大連特電】南滿洲鐵道會社は十五日社報を以て内部の組織を改正し即日施行の事に決せり改正の大なる要點は京城管理局と並びて同一組織の下に大連管理局を新設し朝鮮國有線と社有滿洲線との經營の統一を圖れり新分掌規定に依り本社に理事長室、總務部、計理部、鑛業部、地方部の四部を置き各部内には課、所、局を置く總務部長兼大連管理局長には川上理事、計理部長川村理事、鑛業部長權田理事、地方部長改野理事各任命され理事長室人事課長は川村理事兼任し監査課長田邊敏行、總務部には文書課長山田潤二、調査課長唯根伊與、交通課長三本武重、工務局長堀三之輔、同局設計課長谷直諒、同局土木課長加藤與之吉、同局建築課長小野木孝治、計理部には會計課長向坊盛一郎、鑛業部は販賣課長城崎靜、地質課長木戶忠太郎、大連管理局運輸兼庶務課長貝瀨謹吾、同營業課長岡虎太郎、同保線課長松田直治郎各任命され其他の各所長、課長、各係主任には左したる異動なし各課局所の所屬は左の如し即ち人事、監査及び東亞經濟調査局は理事長室に文書、調査、交通各課、工務局及び同局設計、土木建築各課、砂河口工場、埠頭事務所、築港事務所は總務部に會計用度、電氣作業所瓦斯作業所は計理部に、地方課、衛生課、中央試驗所、農事試驗所南滿醫學堂、南滿洲工業學校、圖書館、參考[illegible]

總督邸晩餐會

長谷川總督は十七日午後七時より在京各國總領事、領事及び重なる領事館員各夫人を招待し晩餐會を開く筈なるが陪賓として山縣政務總監、持地通信局長、[illegible]同夫人、關屋學務局長、同夫人、久水外事課長同夫人等列席すべし

御禮言上執奏

今回李王世子殿下御歸鮮に際し天皇皇后兩陛下には李王、李王妃、李太王三殿下へ御下賜品ありし殿下には御禮傳奏方を申出でられたるより長谷川總督は十四日午後五時三十分波多野宮相に宛て左の通電報を發せり

李王同妃兩殿下李太王殿下には天皇皇后兩陛下より夫々御下賜品を拜受し謹むで御禮を申上ぐる旨傳奏方申出でらる右執奏を乞ふ

王世子御動靜（第四日）

李王世子殿下は十六日午前十時卅分德壽宮石造殿階下接見室に御出同夫人並に兩宮主、宮内人及び内人總代を引見午餐後午後一時李太王殿下の御居間なる咸寧殿に伺候し宗廟及び大宮、德安宮參拜の御挨拶をなし同殿にて龍袍と稱する黄色の朝鮮式禮服に御改服あり同一時五分咸寧殿を出で[illegible]御親族[illegible]贊官之れに隨ひ[illegible]に向はるゝ筈なる[illegible]一名巡査二名乘せる自動車を先驅とし殿下の自動車には金武官陪乘し其他隨員及び御親族貴族李王職員の自動車之れに次ぎ前後列外として[illegible]祭官を乘せたる自動車を後衛として午後一時十五分宗廟著、二時四十五分宗廟發、北部の大宮に向はれ三時十分大宮發、太平町通りの德安宮に赴かれ何れも御參拜を終り同四時卅分德安宮發德壽宮石造殿御居間に御歸還せらるゝ由

肺結核豫防（府令）
來る三月一日より施行

既報の如く來る三月一日より施行さるべき肺結核豫防に關する件は十五日總督府令第四號官報を以て發布されたるが其の全文左の如し

第一條　學校、病院、製造所、船舶、劇場、寄席、料理屋、飲食店、貸座敷、理髪店其の他警務部長の指定する場所には適當なる數の唾壺を配置すべし

前項の唾壺不適當なるか又は其の數充分ならずと認むる時は警察署長（警察署の事務を取扱ふ憲兵分遣所長を含む以下同じ）は唾壺の變更又は增置を命ずることを得

第二條　前條の唾壺には唾液の乾燥を防ぐ爲め消毒藥液又は水を容るべし

唾壺内の唾液は左の各號の一に依り消毒したる後投棄すべし

一　[illegible]石炭酸水（二十倍）[illegible]クレゾール水（十倍）を投入し攪拌したる後[illegible]

[illegible]

第三條　肺結核又は其の疑ある患者の使用したる物品は消毒するに非ざれば他人に使用せしむることを得ず

第四條　病院は左に掲ぐる事項を遵守すべし

一　同室に肺結核患者と他の患者とを收容せざること

二　肺結核患者を收容したる病室は消毒するに非ざれば他の患者を收容せざること

三　肺結核病毒に汚染し又は汚染の疑ある物品は使用者を更ふる[illegible]

第五條　[illegible]

第六條　[illegible]

第七條　[illegible]

第八條　[illegible]

第九條　[illegible]

第十條　[illegible]

附則

本令は大正八年三月一日より之を施行す

浦鹽の形勢
市街戰はなからん――恐るべきは勞働者の掠奪――帝國軍艦の入港と浦鹽の形勢――無頭動物の醜態に均しき過激派の兵士――奇怪なる鮮銀金庫の封鎖

朝鮮銀行司事　本原小平氏談

[illegible]浦鹽附近の形勢は[illegible]なるかの如く日本に傳へられてゐるけれど恐らく浦鹽が

▲兵亂の巷　となり市街戰を起すやうな事はあるまいと思ふ、唯注意すべきは不逞な勞働者や無智の兵士が窮餘市中に掠奪を始めはせぬかと危ぶまれる事だ、之れ等が軍艦の入港し在留邦人保護の必要ある所以だと思ふ、少しく予の觀る所を述べんに現に浦鹽にゐる露兵は七八千とも云ひ一萬五六千とも稱されてゐるが其實數はどうも一萬弱らしい、其内過激派に屬してゐる兵力はよく分らぬけれど、下級な無智な奴ばかり先づ六七千もあるかと觀測されてゐる、然し彼等は前述の如く滅法に

▲暴動を始む　べしとは信ぜられぬのである、其理由は（一）[illegible]

[illegible]此の點に於て帝國軍艦の浦鹽入港は在留邦人のため非常の強味であり、勞働者の不逞な掠奪を未然に防止するに於て少なからぬ効果あるのである、私は十一日に浦鹽を發つたから恐らく十四日中に入港したであらう

▲帝國軍艦　の雄姿には接しないのであるが[illegible]

▲兵士の暴擧　[illegible]

▲過激派の軍隊　[illegible]

▲武裝の兵　[illegible]十名近い[illegible]

▲勞働者の掠奪　[illegible]

▲國際商業銀行　にも露國[illegible]

「耐寒の設備は民族發展に必要」
立花將軍談

今回予の巡閲旅行の目的は遼陽守備隊の生活狀態と耐寒程度の如何を探究し併せて其他の事情を偵察せんとするにあつた、初め京城を出發して元山に向ひ直ちに新昌に出て北青、甲山、惠山鎭を經て西里に入つたが[illegible]

▽大雪に遭つた　[illegible]

▽今年に限つて　[illegible]結氷薄く[illegible]

▽山道を辿つて　[illegible]此所で漸く中間の靜養を爲すことが出來た譯である

鮮銀總裁發期

美濃部鮮銀總裁は豫報の如く來る二十五六日頃出發滿洲旅行の途に上る由なるが其の行程は大連旅順遼陽鐵嶺等にて同行者は大田理事

鐵道標準時復舊

滿鐵道にては昨年七月十六日より標準時を從來より一時間進め居たる處本月十日より之を復舊せり尚十二日より長春哈爾賓間混合列車の時刻を改正する所ありたり

商業部委員會

京城商業會議所にては去る十三日評議員會に於て追加附議せる[illegible]に關する件に就き十五日午後二時より東拓樓上に於て商業部委員會を開催し種々打合せを爲したり

朝郵店長會議

朝鮮郵船會社にては例により十四日より本社に各店長を召集し重役各課長列席の上業務上の打合せ會を開きつゝあるが十六七日頃終了の筈

鮮銀爲替會議

朝鮮銀行にては既報の如く十五日午前十時より樓上會議室に於て外國爲替會議を開きしが本店より美濃部總裁三島理事中村吉田井内各局長其他關係幹部出席地方よりは阿部滿洲佐藤内地兩副總支配人掛井大阪宮崎神戸木原哈爾賓各店長等にして主として各行の連絡其他に付凝議せしめ尚十九日若くば二十日まで續開すべし

警察署長更迭

一月十四日附を以て左の通り更迭あり

補清津警察署長　大邱警察署長　葛城最太郎

補大邱警察署長　清津警察署長　白井善三郎

定例長官會議

十五日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き[illegible]

大田理事入京

大田鮮銀理事は十五日午後七時半南大門驛着列車にて入京せり

鈴木總支配人出發

[illegible]總支配人鈴木島吉氏は十四日午前八時四十分南大門發列車にて東上せり

[illegible]博士入京

總督府囑托[illegible]博士は十四日入京[illegible]へ投宿せり

田中氏[illegible]

[illegible]田中半四郎氏[illegible]去る十三日永眠せり依て田中氏は十四日夜行にて東上せり

太平洋無線電信

米國航路の鹿島丸に搭乘渡米の航程中に在る總督府囑托切田太郎氏より無線電信を以て「今太平洋航海しつゝあり浪靜かにして航海安穩」なる旨十五日本社に電報を寄せたり

人事消息

▲水谷平吉氏（平壤鑛業所長）　十五日夜入京浦尾旅館へ投宿の筈

▲乾政彦氏（法學博士）　同上

▲本田幸介氏（水原勸業模範場長）　十五日朝退京

▲佐々木藤太郎氏（慶南道參與官）　十二日附を以て出府を命ぜらる

▲石塚英光氏（京畿道警務部長）　十四日入京

▲遠藤柳作氏（遞信局貯金管理所長）　十五日朝南大門發東上

春の歌

海邊松　菊池雲玄

[illegible]

片男波和歌の浦わの並松の根は洗へども榮ふなり　同　小谷丹楽

海のもに姿うつして岩松はけふの榮をことほきにけり　阿比留都流子

大君の御代の光を海の邊の松はこぞりてうけて色增す　阿比留貞子

白妙の濱の邊に立つ姫小松緑も色に[illegible]　井本楠堂

初日さす二見か浦の濱松にしつかにわたる伊勢の神風　田原千萩

うち寄する浪にも春の訪れて緑色添ふ三保の松原　[illegible]

にともなき須磨のうらわのたか松は動かぬ御代の姿なるらむ　江田ひで

欵乃の舳路はるかに聞ゆなりにかたすらむ濱の松風　[illegible]

時間表　[illegible]

十一月一日現行

◇古式の藍輿にて ―李王世子殿下の德壽宮内三殿御展謁―

燃ゆる緋の冕服に 御展謁の式を

▣世子殿下執行はせらる▣

十五日午前十一時李王世子殿下は父王殿下と共に璿源殿、景孝殿、懿孝殿に御展謁の式を執行はせらる、之より先き世子殿下は成寧殿に於て冕服を著けさせられ藍輿に召されて同殿を御出門ありたるが李太王殿下には黄龍袍に黄なる陽傘を翳させ給ひ長き〳〵白髯を撫しつゝ左右に近侍を随へさせられ御先登に進ませ給へば世子殿下には

▣燃ゆる緋の冕服を

著け紅陽傘を翳させ給ひて嬉然に微笑れつゝ藍輿に乗らせられたるが、其の御姿のいと愛らしくも見奉られたるにぞ御殿玄關まで御見送り申上げたる數多の女官は御姿の見えずなるまで御目送をぞなし居たり璿源殿に著輿せられたる両殿下は御附事務官が捧らす御盞を執らせられ版位に上らせ給ひ

▣太祖の御位牌に

『鞠躬四拜興平身』の禮を行はせらるれば參班員も同じく『鞠躬四拜興平身』の禮をなし斯くて肅宗、英祖、正祖、純祖、文祖、憲宗の御眞影に一々御展謁あり儀式終れば世子殿下は御附事務官に導かれて殿門を出でさせられ成寧殿に御還輿ありたり

◇久方振りの 温麪を悦ばれつゝ

□父太王の御心盡しの御膳□

太王殿下は十五日午後零時三十分世子殿下を成寧殿に御請待の上温麪の御饗應ありたり、温麪には

▣世子殿下が御嗜好と承らせられたる温麪に久方振りに朝鮮料理を召上る事とて御箸の運びも自ら進ませられたるやにて父王殿下にも御満悦の體にて

▣御身は幼い時より 御馳走は無きが膳部設しなど言ひたるが記憶ありや」と申されけるに世子殿下は羞らひ氣に面上げさせられ微かに記憶あり」と御答へあり、共に微笑まれつゝ食後の菓實を召上られしと

◎京都新作家 反文展旗揚げ

京都の畫家土田麥僊、榊原紫峰、其他は文展反抗の聲を擧げ青年畫家と動き大阪の北野恒富氏等も反抗して旗揚すべく橋本關雪氏も今後文展に出品せざる決心なりと云ふ（大阪特電）

◎俘虜移收か

共進の敷地問題につき福岡の俘虜

◇李太王殿下の璿源殿御展謁 ―李王世子殿下を伴ひたまひて―

佛光寺燒ける

◎日蓮宗の古刹 ▼伊豆伊東の火事▲

伊豆伊東にて十三日午前零時失火あり二十六戸燒失し日蓮宗に縁深き佛光寺明照寺燒失せり（大阪特電）

し來れる露國の義勇艦に救助され一月十一日支那芝罘に無事上陸したる旨十五日其筋に入電ありたり

◎雪山氷河を踏破

▼羅南騎兵聯隊強行軍▲

羅南騎兵第二十五聯隊は耐寒行軍

◇李太王殿下 御自ら寝臺の上に

―登らせられ夢幻かなるかなと世子殿下を顧り見られ給ふ―

▣石造殿内御父子の御物語く

李王世子殿下には十四日午後六時其の左右には[illegible]より石造殿玄關大廣間左側大食堂[illegible]に於て晩餐會を開かせらる[illegible]こるなれば李太王殿下には成寧殿[illegible]を出でさせられ[illegible]両殿に入らせらるゝ[illegible]御[illegible]

□李太王殿下

世子殿下御着[illegible]に座せられ[illegible]

□御寢臺の上に[illegible]

の上に登らせられ、御寢具に身を埋めてはスプリングの反動やさて[illegible]御肌さはりの模様など驗されつゝ[illegible]

□御父子の儀式は[illegible]

◎北陸雪害頻々

千三百八十名[illegible]北陸線名立名立間[illegible]に埋められ[illegible]歩す▲富山縣礪波郡[illegible]千三百名は全く閉ざされ饑死の慘[illegible]り決死隊は目下食糧運搬の途にあり▲同縣婦負郡大長谷[illegible]前にて九名壓死せり（大阪特電）

膨突益々猖獗

[illegible]

◎露國義勇艦 漂流漁夫救

成鏡南北道[illegible]漁夫[illegible]九名は一月四日元山沖にて漁中[illegible]難破して漂流中[illegible]たり（大阪特電）

◎承前不止

[illegible]

◎内鮮男女合意の 濟昌裕善心中

十四日午前四時頃鎭南浦府[illegible]町遊廓[illegible]方抱娼妓濟昌裕[illegible]（二十）と[illegible]崎縣西彼杵郡[illegible]村[illegible]（二十）この合意心中あり

▣男は短刀を以て女の咽喉部を一刺し動脈を切斷し其の切りたるを見て自分も咽喉部を掻き切りたるも手元狂ひ傷淺くして死切れず呻めく聲に樓中が驚き知りて大騒ぎとなり直ちに急報して警官醫師の檢視を受けたるが男には應急手當を施し府立病院に送りて治療中なり女は昨年八月五百圓にて抱へられたる廓中での美人と云ふ評判ある女

▣美人と云ふ評判ある女 男は昨年十一月以來七八回登樓したることある之れも一人には珍らしき好男子なりしと男女とも數通の遺書あり別に原因と見るべきものなきも枕元に心中記事ある新聞を擴げありたりと云へば一種の感化にて女の悲觀を誘致し男に心中を迫りしものゝ如しと風評せるが

媛生荒しの大賊

京城で[illegible]署に[illegible]

◎小火

十五日午前十時五分頃京城府[illegible]町二百三十三番地の一號李致弘方より出火常備消防隊出動し屋根を燒きたるのみにて消し止む

◎點燈時社と木石詩會

點燈時社[illegible]木石詩會と合併し一月二十日（日曜日）午後一時より塔洞公園内靑木堂にて開催す參會者は當日雅印は勿論陳列品として書畫文房具類の中にて平素愛翫せるもの一品以上を携帶參集して半日の淸遊を爲す會員以外の詩人高家にして出席の希望あるものは大に歡迎するよし當日の席上課題は左の如しと聞く

▲觀木石詩會▲雪中聞鶴

◎救恤金（本社取次）

▲一圓、一信者▲金一圓、[illegible]明珠

東上に付當分休院す

一月十五日

松村醫院

松村[illegible]

商況

東京期米時也

兵庫期米

深川正米時也

大阪株式時也

大阪三品時也

大阪現物時也

下關期米時也

雜報

◎絹糸布下支へ

現物は平票十六手三百十五圓

綿布龍レ一九龍十圓八十五錢三

銘十一圓五錢

四圓二十錢

▣正米は軟調 傾や頓に貫物減

一度下押

強弱の態度と受渡

如何に影響

頗る難事

渡米の蒐集

響は忽ち正米に及び其反

一高一低成行

◎商況氣縮る

大阪天候曇天

東京九十六錢兵庫五十一錢

依然保合

◎洋紗は高氣配

並品二十錢

◎目ッ小弛む

十錢方下押

◎小麥益々強し

續々好勢

◎洋服高見越し

製造中止

上一錢分

◎海外物碑值

上過值九圓

五十錢方引上

◎麥酒は漸騰

市中在荷

京城正米

南大門市場

初旬高值

十五錢方下

仁川正米

牛魚市場

◎米穀物

仁川期米

十五日前場

焦付き

下關相場

市場雜觀

◎米價返

手持薄高息

◎配人の説

他は模大連

更に區々

廣告

◎仲買店

四田中金兵衛商店 仁川仲買人

株式會社仁川米豆取引所仲買人 金田仲買店 電話長一〇〇 電話長一一九

仁川米豆取引所

十五日の三月限

大阪株式時也

大阪切米

十五日の三月限

連絡船上陸客

十四日朝

天氣 晴れ

歐米流行の支那風俗
◆英米の劇壇に◆

◎支那の風俗 が最近著しく英國や米國に行はれてゐる事は驚異に値する事であります、倫敦の市中一寸劇場を覗きました、定めし戰時物かさなくば何か勇壯な物を見せて呉れるだらうと期待して居たら實に案外でした、劇は『チユーチンチヤオ』と云ふ物で三人ばかりの女優が悉く支那服を身に纏ひ、電氣仕掛けで赤やら青やらの濃厚な色彩を反射しつゝ躍る『マチーネー』のやうなものでした『チユーチンチヤオ』とは

◎支那唄で 女優がそれを唄ふのでその名が出たのです、此興行の中に支那人の手品師が交つて居ました其が噂によると日本人だと云ふ話でしたが、逢つて話をした譯でありませんので、眞僞の程は分りません、其外の今の流行は

◎ジクザク とは戰爭以來行はるゝ流行語で『醉拂ひの千鳥足』と云ふ事を意味し又『ジクザクコース』と言へば敵艇の目を瞞ます不規則な電光形の針路を取る事を云ふのです、而して此の『ジクザクダンス』の新工夫は足の裏から火を出す事です多分靴の踵に燐石が著けてある事と思はれます火の出るやうな激しく躍りをするのですから戰爭氣分と云つても好いでしよう

◎支那趣味 は英國ばかりでなく紐育などでも興行物には必ず支那人支那風俗を利用してゐます紐育のサーカスで曲馬を見ましたが此の時支那の辮髮の利用法には驚嘆しました高い天井から五本の綱を張つて『辮髮を滑車』に結びつけた支那人が宙にぶら下つて此處に滑りかへりなどは宛然人の雨が降つて來たやうでハツトしました髮の毛と云ふものは實に強いものです（新歸朝者談）

●平壤金融と經濟
閑散期より活動期に

平壤に於ける客年下半期の金融經濟狀況を見るに其前半たる九月迄は商況不振取引澁滯金融緩漫の狀況を持續し後半たる十月末迄は商況活潑金融緊縮の狀態に進め更に此間の消息を具體的に記さば七月は前季末に於て不振裡にありて牛皮、小麥、鷄卵の出廻を見たる外は米大豆等全く市場に其跡を絶ち八月は露國に於ける外國爲替の制限に依り該國需要品輸出不能に陷りたると

▲內地米穀の鈍狀 に刺戟せられ爲めに穀價漸落し僅かに銀商にある滿洲和洲割商に支へられ多少大豆小麥の內地移出を見たるに過ぎず斯くて九月の端境期に入るも何等改まらず依然として軟弱の趨勢を辿り居たり而して不振商況は獨り輸移出界のみにあらず輸移入界に於ても同樣の姿にてさしも天井知らずの勢力ありし綿絲布は七月三品取引市場の休會により一頓挫を來し八月調節令の公布にて

▲益々不振に陷り 九月鋼鐵界の浮動に因り支那方面の需要杜絶せるを以て所謂夏枯時期を極端に現出せり然るに後半に至りては形勢一變し十月內地暴風雨の影響を受け穀價俄然奔騰し牛皮亦氣候良好なるが上に印度棉の輸入杜絶と米棉の暴騰に伴ひ質棉相場奔騰し十一月末以降買注文殺到を見年末に至り

▲益々其盛況を見たり 然れども納期に迫りて大豆、小麥、穀物檢査の斷行ありしにも因るべし荷動き不振を免れたりき之れ一面に於て米穀及び質棉等の暴騰の結果農民の財力潤澤となり質惜しみの傾向を馴致するに至れり此期に於て獨り黑鉛のみは常に輸出の旺盛を見たり翻つて同期に於ける輸移入を見るに十月に於て

▲綿絲布は高低常ならざりしが月末銀價反動高の影響により漸く支那方面の需要を喚起し延いて內地相場の強調となり時節に必需期節に入れると相俟つて著しく需要を促進し十一月に入りて稍々頓挫の觀ありしも末に近づくに從ひ再び盛況を呈し雜貨の商行亦極めて良好なりき之れ蓋し一般農民の購買力增進に基くと雖も

▲事業勃興の機運 に際會し大に商況を刺戟せるの點は見逃すべからざるところなり商況上の如くなるを以て金融界も閑散季より活躍季に進める事既に記せる如し今半期各銀行帳尻に就き見るに預金は下半期末二百三十九萬圓にして前半期末に比し却て二十八萬圓を減せるに不拘貸出に至りては下半期末四百六萬圓に上り前半期末に比し百四十萬圓の激增を示せり是れ商況の振興に伴ふ必然の結果に外ならざるなり

◎重要問題解決 近く
大連重要物產取引所大豆受渡問題は昨秋以來大連經濟界の一大問題として紛擾を重ねたる結果當時解決の分も未解決の分も[illegible]之れを裁判の判決に出つて解決を見ることゝなり其後引續き紛合ひ最後まで殘りたる分は當初の金額に比し極めて僅少となりたるが此の分は未解決の儘越年したるが八日重要物產取引信託會社は臨時總會を開き其の結果其の善後策を重役に一任する事に決し結局仲裁々判に附せらるゝ事となり目下[illegible]法院長土屋地方法院長各仲裁委員と黑島民政部殖產課長各仲裁委員となり近く此の問題も解決を見るに至るべし

◎東拓貸出高（大連）
東拓大連支店に於ける昨年十二月末日現在貸出狀況左の如し

貸付金
前月越高　百五十九萬六千七百八圓六十六錢
十二月貸出高　四十萬九百圓
十二月回收高　五萬二千六百七十八圓二十四錢
現在貸付高　百九十四萬四千九百三十圓四十二錢

にして右現在貸付高の內定期償還貸付金は二百二十四口金額金百五十二萬五千八百八十圓四十三錢年賦償還貸付金四十三口金額金四十一萬九千八百五十圓あり右は正金銀行より引受けたる債權をも包含せる次第なるが此の內大連支店開店以降新規貸付けたるもの合計四十七口貸付金々額金四十六萬二千八百五十圓に上れり此等貸付資金の用途別を見るに建物資金二十四口三十萬四千七百圓、農民救濟資金二十二口三萬圓土地改良資金一口三千五百圓果樹園經營一口三千圓牧畜經營三口一萬二千七百圓鐵管製造工業設置資金一口一萬圓肥料製造資金一口四千圓耐火煉瓦製造資金二口一萬四千六百圓海產物加工資金二口六千百圓醸造資金二口三萬九千八百五十圓菓子製造資金一口四千二百圓印刷工場資金一口千八百圓運動用具製造資金一口千八百圓[illegible]九千四百圓[illegible]にして僅かに一箇月間に[illegible]は確かに[illegible]一月に入り開店當時の繁務も[illegible]多少の餘暇を得漸く[illegible]等を廢するに至れりと

◎引繼後の鮮銀
回收金券三百萬圓

大連朝鮮銀行支店客冬十二月正金銀行大連支店より金券引繼を受けし以來一月十日迄に回收したる正金銀行金券總額は百七十三萬八百九十九圓にして之れに奉天安東其他の支店出張所にて回收したる金券を合すれば約三百萬圓に上り引繼時の發行四百五十萬圓の三分の二以上を回收したる譯なるが今年中に殘額百萬圓は回收せらるゝものとして其の餘の五十萬圓の回收は比較的長年月を要するものと豫期せられ居れり在滿洲各支店にて回收したる正金金券は之れを一括し一週間に一回位に便宜上奉天支店に取り集め奉天支店より更に京城本店に送致し京城に於て燒棄する事となり居れり

◎外蒙古の山鹽
外蒙古安達大泡子、大賚廳泡子の地に於て山鹽鑛を發見せるものあり黑龍江省の實業家王廣文之れが採取方を當局に出願したるが許可の上は資本金十萬圓の會社を組織して一箇年一千萬斤を採取する見込なりされど食鹽は支那の專賣に屬して之れが許可は從來殆んど何人に與へざるの例なれば此の許否如何は今より豫想することは能はざるも鑛量極めて豐富なりとの事なれば有望の者たるべし

◎露廢帝 幽囚の場所
二十餘年來歐西亞の研究に身を委ね、西亞細亞から歐羅巴露西亞にかけて殆んど其足跡を印せざるの地無き露西亞通の某氏は昨年十一月から東部西伯利亞の視察に出かけて所謂過激派と闘れたる各地を經巡り、最近數日前歸京した、其土產噺は西伯利亞の眞相を語つて居るが、露廢帝及び其第二女タチアナ姫の運命に關しては左う語つた

▲タチアナ姫 來朝の噂は其後何うなりましたか、次で廢帝の生死に就きましても種々取沙汰されて居りますが、何れも傳はつたさうですね、私には信じられません、廢帝の幽閉の場所トボルスクは、私も往年一度訪ふたことがありますが、其位置はウラルを東へ越ねて、西伯利亞鐵道から離れて北に入るウラル鐵道支線の終點チユーメニから二百露里、トボリスク縣廳の所在地である、市制は布かれてあるが舊式の街區で淋しい土地である

▲廢帝の居所 はオビ河の大支流で同市を貫流するイルツイシ河畔の尼寺だと聞いてゐる、若し廢帝なりタチアナ姫が同地から脫出しやうと企てらるゝならば、縱し警固の兵が無いとしても二百露里を徒歩か橇か、夫れとも馬か馬車でチユーメニに出て漸く汽車に乘れるといふ不便の地で、到底高貴の人々が、之れといふ非常の計畫でも無い限り、容易に

▲落人の眞似 は出來さうもない、私が同地に行つた折り、土地の人々は『何處から來たか』と訊くから『中て、見ろ』と云ふと『髮が黑いから大方加索逭だべね』と云ふ調子、愁うした質朴な田舍人に圍繞されて、廢帝は萬斛の憂愁を懷きつゝも、朝夕を心安く送つて在すことゝ信ずる、無論動亂の中にタチアナ姫の米國行などお許しがあらう筈は無いじやありませんか

◎江上大運動會
例年の通り安東縣にては來る二月十一日の佳節を卜し鴨綠江の氷上に於て大運動會を開催すべく決定し目下委員を選定して計畫中なるが今年は從來の種目以外に何か一段の盛況を呈せしむべく[illegible]大連及び京城方面より參加する方面へも通報ありたる由なり

◎大田郡林野整理
大田郡にては道廳に忠南道廳より人を派し林野整理施行中の處九月以來多くの面を除くの外全部終了せしが目下は作業上困難に付[illegible]の分を整理の上來る一月下旬頃より再著手の筈にして全部終了するは三月下旬頃なるべしと

◎大田郡の植林
大田郡に於ける大正七年度に於ける植栽面積は約六百町歩にして目下各面に就き調中なるが樹種の重なるものは栗二十五萬九千三百本、クヌギ二十五萬七千本、赤松三十二萬五千本、黑松三十三萬四千本、アカシヤ千五百本等にして同郡に生產苗數は百十六萬七千本にして其の不足關係は他より供給を受くる筈なりと

◎取引所長新任（大連）
大連重要物產取引所長村津寬氏は過般大豆受渡し紛擾を惹起したる際引責辭職し爾來五泉都督府事務官兼任しが今回村大吉氏都督府囑託として同所長に任命せられたり同氏は任命後內地各地の取引所の視察を爲し著任する筈なり

◎陳知事著任
新任安東縣知事陳藝氏は十日午後五時十分鳳城より馬將軍同道にて沙河鎭驛下車著任せり

◎東拓支店移轉（大連）
大連東洋拓殖會社支店は舊臘近江町中村病院跡の建物を購入し同處に支店を移す事となりしが十日より同建物の模樣替へに著手したるが移轉は二月上旬となるべしと

◎工科學堂と交換機
旅順工科學堂にては實驗の爲め購入したる自動電話交換機を遞信管理局に貸附する事となり過日同校より管理局に引き渡したり

◎大連より
○東拓大連支店は客冬十月開店したが十月中は事務所の設備やら何やらに費やし十一月に正金銀行の引繼を受け同月中に新規に七萬圓ばかりの貸出しを行つた

○其の當時は世間から注目されて[illegible]といふやうな非難の聲を浴びせかけられたが十二月に入つて支店の設備が略ぼ整ふと同時に一躍して四十餘萬圓の新規貸出を敢行した

○これが有價證券や商品を擔保に貸出す商業銀行の貸出しであれば其の額は云ふに足らぬものであるが何しろ土地建物等に對する貸出しであるから迅速に運んでも五日や十日の日子は要する事になるから大口と云つても三四萬圓で小口になると二三千のものが少くない

○所が昨今多少社員の手が揃つたのでこれからは申込を受けてから大抵一週間位には遲くも片があくやうになるといふ事である今年中には少くも大連市だけに五百萬圓位は貸出し度いと云つて居る

○從來金利の高かつた大連其他滿洲各地にかゝる低利資金の金融機關が現れた事は起業家の爲めに甚だ悅ばしい事である

○東拓支店では今年度より更に各種產業に關する調査機關を設け資金の貸出と共に一面に於ては有利なる事業を一般に紹介し斯くの如き有利事業を興す者に資金の融通を爲したいといふ風にする計畫であるさうだ

○又他方面に於ては支那人農民の爲めに農業改良の資金を貸付ける計畫で試驗的に先づ遼東銀行の手を經て關東州內の農民に低利貸出を行つて居るが何分今の處支那農民の資金消化力は微弱なるものである

○彼等も永い間地主とか田舍の金持から頗る高利の金を借込んで疲弊して居る處だから低利資金の融通を受ける事となれば將來大いに農蓄產の增殖を遂げるであらうと思はれる

（右欄）
仁川 米
▲十五日後場 大阪變らざる入電に中二十圓先二[illegible]
仁川大豆取引所
[illegible]
◎又も凍死者四名 京城[illegible]名凍死し居るを發見せり
[illegible]

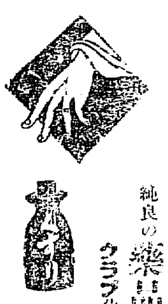
演藝案內
黃金館 電話三六三・三六七 [illegible]
壽座 京城[illegible]町 電話五七八番 [illegible]
稻荷座 本町五丁目 男女合同市川團之助一座 [illegible]
大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]
浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 京洛新講談 春風亭柳窓大一座 [illegible]
有樂館 活動寫眞常設館 [illegible]

入院隨意（普通病室並に隔離病室） 內科小兒科 小林醫院 京城旭町一丁目 醫學士 小林千壽 電話六九二番

各色印刷インキ製造販賣 京城南大門停留所東 芹川商店

良家の化粧料 には素顏美を養ふ美顏ユーテー が冬は殊に多く召されてゐます

製造元とのやくそくで 割の安い品そろいの 砂糖、菓子、酒類、[illegible] 他日用食料品 大仁川本町 おしろ店 河野本店 電話二八一 振替京城二一一番

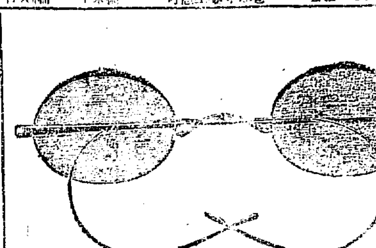

純良の藥種と賣藥 ウラブ化粧品代理店ですから御値が安いです 京城本町二丁目角 古城贊化堂 電話一〇二番 振替七三七番

恩給年金 利安 立替 五年 料退 凑屋兩替店 大阪道頓堀大黑橋北詰 電話南三九五

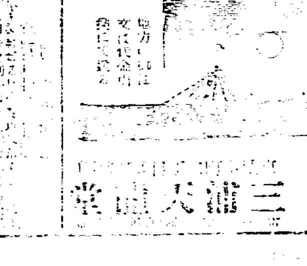
優等清酒

發賣元 本莊酒店 黃金町百九十一番地（若草町四ッ角） 電話六五四 振替京城二〇六番

內科胃腸病 診察夜九時迄 石川醫院 京城本町一丁目 電話一二七九番


金側定價 十四圓九十錢 二十三圓 十八金 二十圓 九金 六圓 防寒用ゾカ子 一圓三十錢 八十錢 四十錢 二十五錢 定價表進呈 中村眼鏡店 京城本町一丁目 電話壹壹七番 振替京城主四六番 鑛物分析に應ず

瀨戶皮膚科外科醫院 京城旭町二丁目（舊三丁目） 電話二四九八番 醫學士 瀨戶潔 診察夜九時迄

時計貴金屬眼鏡商 三浦天眼堂


株式放資好期來 公債株式 京城本町三丁目五番地 有田長 電話一九八番

信券 初回來月一五六七 參通組四十圓 二通組廿三圓 中野債券部 電話長六九二一番

母操子病氣の處本月十三日東京に於て死去致候に付此段謹告 一月十五日 田中四郎

長女松江儀兵庫縣住吉村に轉地療養中の處不相叶本月十二日午後二時死去致し候此段知己諸君に謹告候也 大正七年一月十四日 京城旭町二丁目 高瀨梅吉 親戚一同

汽車 京釜線 (南行) (北行) 湖南線 (南行) (北行) 釜山連絡 京義線 京元線 京仁線 (仁川行) 兼二浦支線

左甚五郎

第百三十九席

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

甚五郎は瀧五郎の死を悲みまして 甚『俺が來さへしなければやア、お互ひに怪我もせず、瀧さん親子夫婦を殺しもしなかつたらうに、生涯の過ちは俺が日光へ來たのだ』と頻に氣の毒に思ひまする、昔から屋が藤右衛門に段々話しをするから乃で藤右衛門が栗原遠江に對つて 藤『瀧五郎が臨終の頼み甚五郎と兄弟分に成ては何で 栗『イヤ俺は誠に喜ばしいが甚五郎どんが承知をしてくれるかしら 藤『イヤそれは俺から話しをしやう』と早速柏屋へ來て藤右衛門から段々甚五郎へ頼みますと、甚五郎に於ても 甚『瀧さんが臨終の際に呉々も頼んだ言葉もあるから兄弟分になりませう』といふので、藤右衛門も大きに喜んで柏屋の表二階で栗原遠江、甚五郎と愈よ兄弟の盃といふことになりました、乃で遠江の方が年を老て居りますから兄分甚五郎は弟分日光大工江戸大工一統芽出度手打も濟んで是から一同出立といふことになりました、土地の大工一統宿外れまで見送りまして、愈よ江戸表へ立歸りました、甚五郎は早速駿河臺の大久保彦左衛門の屋敷へ罷出まして此段を申し入れまするど、彦左衛門が 彦『それは何うも氣の毒なをとをした、其方を日光へ遣らなければそんな不具にはならなかつたものを腕を一本落してしまつては何うも仕方がない、實は上野の御靈屋の左右の扉であるが雌龍雄龍を彫ろといふ上からの仰せ、箔を置くのであるが其方に申付けやうと心得て居つたに、右の腕が無くては何うも仕方があるまい 甚『左様でございますな、何にも左の腕一本で出來ないといふ限りもございますまい、左り細工の手初め一ツ遣つて見ませう、叶けなければ御免を蒙ふばかりで、就きましては兄弟分になつた栗原遠江、是も片腕がございませんで片腕遠江、片腕杉、出來るか出來ないか遣て見たいものでございます 彦『武稀至極、面白い考へ、然らば』といふので大久保彦左衛門は早速に其の趣を將軍家へ申上げる、お聞済に相成りましたによつて彦左衛門より甚五郎へ御沙汰、甚五郎から日光へ手紙を出しまするど遠江も大きに喜びまして早速出府をいたし、手土産を持つて甚五郎方へ參りました 甚『手紙を上げましてお呼立申したといふのは他事でも無い、今度上野の御靈屋の普請を仰付られましたが、兄さんと俺とで一ッ遣らうと思ひますが、最も普請大略出來ては居るが門の扉を彫つて下さらないか 栗『俺も追々年を取て充分の仕事も出來ないが、然らいふことなら骨を折つて見やう』と兹で御靈屋片扉づゝ雌龍雄龍を何方も左の腕一本で美事に出來をいたしました、彦左衛門も大きに喜びました數々の下され物等がございました、乃で江戸見物をして栗原遠江に於ては日光へ歸りまする時に、千住の大橋まで見送りまして別れ、遠江は芽出度く日光へ立ち歸りました、偖て是れからして甚五郎は、左の腕一本で種々の細工をいたしまする處から入綽名して左甚五郎、左甚五郎と申しまする天下の名人といふものは實に大したものでございます、然る處或日大久保彦左衛門方より使が參りました故、甚五郎は取敢ず駿河臺の屋敷へ參りました 彦『偖甚五郎、今般公儀に於て安宅丸といふ大船を新ぎ立らるゝに就て、諸國の船大工をお呼上げになつたが、彫物の儀は其方一手に申付る故お受をいたして宜しからう 甚『何事かと存じましたら、安宅丸の彫物を私へ仰付け下さるは一世の面目有難いことに存じます』とお受けに及びました

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城水標町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

暦 一月十七日 九星 第十二月五日甲子 今命七赤西閉佛滅

△廣告▽

男女防毒器 サック
一打金三十錢 五打金二圓 優等品 一打金八十錢 五打金四圓 …
東京淺草向柳原一ノ一七番 齊藤

周易 介石堂 明治町二丁目 岡村介石

てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れ永年の病も自宅でヒミツに治療す詳しい本を無代進呈す
名古屋市南小川町一 救生會

M印 ゴムマリ 大阪府…

赤毛染 ナイスから
色も艶も申分ない 毛染はナイスが第一
ナイス(九大特色)
▲僅二十分で染る ▲永く保ち褪ず ▲艶々こく黒く美しく ▲襟枕に浸着せず ▲用法至極簡易
大瓶七十錢 小瓶四十錢 男子用三十錢
發賣 大阪 東京 丹平商會 到る處の藥店化粧品店にあり

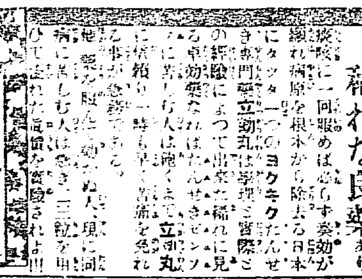
今回絶對に内容の優秀を保つ爲め赤毛染ナイス 左の通値上げ致候
大瓶 金五錢値上 一個に付
小瓶 男子用 各一個に付 金三錢値上

シズムラ秋コト 直に歸れホハリ
但し幸福なる生涯に入る希望は何をかなさん唯神の靈理を感謝して其多幸を祈るに忍びず此の浪は斷じて許さず見るに忍びず…

日本化粧品株式會社特約
色白藥 毛生藥
本院の色白藥は色を白くし毛生藥は…
駿河臺袋町東京美容院

流經新藥レスノリン 月經
常盤藥院

新荷著 懐中時計
スイス製 ニッケル側 懐中時計 腕巻時計 …
本店京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッツレー商會
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商



胃 つぎ治療 明治町ふらんす教會前 荒川仁壽堂 電二五九五番

たんせき ゼンソクに 稀れな良薬 立効丸
本舗 東京上野池之端仲町 守田治兵衛藥房

釜山商店案内
東 洋酒罐詰糖粉卸商 釜山 あづまや 東

雜貨問屋 釜山大广町

長岡商店

米穀調製器 收穫用器具 竹製消火器 販賣 朝鮮勸農商會 南鮮發賣元

大 藥種賣藥 醫療器械卸商 大黒南海堂 南

富の道しるべ 山縣五十嬉 村上唯吉共著 價十五錢

恩給年金低利立替業務開始 京城南大門通五丁目一三番地 大成社

鐵鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シヤブル 帯革、ロープ、機械、工具附屬品其他 白神洋行 京城

花柳病 外科專門 司生堂醫院

大學目薬

何と言っても大學目藥だ
多年苦んだ眼病も大學目薬をさして此通り立派に全快した
惡性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない

萬提灯卸商 大阪市南區内安堂寺町 多河屋號 打田商店

於東京化學工業博覽會
金牌受領
最上醤油 釀造元 日本醤油株式會社

淋病新藥ツヨール

最も新らしい家庭化粧料
ホンノリ色白くなる
レートフード
▽お顏へ附けた時
レートフードは、ヌルつく心地が致しますが、これが皮膚の根底を整へる新美容素の成分で、直ぐ柔軟に氣持よく致します。そして、お肌の色艶をよくして總体に肌荒を防ぎます。
その上、ホンノリ色の白くなる化粧的の作用は、頗る自然で美くしく上品でムいますから、家庭の美化粧料隠化粧として實に天下一品でムいます。
東京 平尾贊平

京城日報
十六日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

京城日報　我國史と國體（五）

日本民族の理想と國體

神威の發動は、上古に於ける世界各國に流行せる民族の通有性たるが如しと雖も、支那史は天命を[illegible]神威を語るも、[illegible]ぎず。而して神人合一、天人一致の理想を信じ、神威を以て國體を建てたるは、我が國史の特[illegible]にして、我が日本民族の思想が、彼の支那、印度の思想と異なる所以。我が[illegible]萬世一系、天壤と與に窮り無き所たらずむばあらず。

蓋し古典を案ずるに、天地開闢の初め、天地未だ剖れず、陰陽未だ分たず。混沌たること、恰も雞子の如し。溟涬[illegible]。清く薄靡なるは天と爲り、濁て重きものは淹滯して地と爲る。是に於て神あり初めて此世に生ず。其名、之を日本魂と云ふ。乃ち其の形あるものは人と云ひ、[illegible]其人ならざるものは今猶依然として神なり。神既に生ず。分れて茲に神祇を成す。一に之を天神[illegible]國神と云ふ。人も亦既に形あり。故に觸るるときは、此に分離す。名けて之を神子と云ふ。神子は蓋し神人の共に一目を撫せざる可からざる所のものなり。故に神は一に之を大神と稱す。[illegible]於て乎、神人茲に相和し、此に始めて愛撫の國を立つ。一を皇孫の命と云ひ、一を八十御魂の神と云ひ、一を大地主の神と云ひ、一を天照大御神と云ひ、一を神皇產靈の神と云ふ。神人合一、天人一致の[illegible]

天皇倭姫命を以つて御杖と爲して、天照大御神に貢つり、磯城の嚴橿の本に鎭座せしめて之を祠る。然して後、神の教に隨ひ、丁巳年冬十月甲子を取りて伊勢國渡遇宮に遷す。是時、倭大神穗積臣遠祖大水口宿禰に著りて之れを誨へて曰く、太初の時、期して曰く、天照大神は悉く天原を治らし、皇御孫尊は葦原中國の八十魂神を治し、我は親ら大地官を治らさむ。言已に訖む。然るに先皇御間城天皇は神祇を祭祀すと雖も、微細未だ其の根源を探らず、以て粗ば枝葉に留まれり。故に天皇短命なり。是を以て今汝御孫尊先皇の及ばざるを悔いて而して愼み祭らば、則ち汝の壽命延長、復た天下太平也と。[illegible]

遊支偶錄　蘇峰生

（五）道路の改善

道路の惡しきは、支那の名物たり。[illegible]北京に於ても、霖雨に際して、街衢中の水溜に、溺死者を出せりとの話さへ、立てられたる程なりし也。其の北京は如何。今は街路は如何。比較的の話にあらず、東京の惡きにあらず。若し之を以て、北京の道路と云はば、それ迄の事也。[illegible]支那人が、道普請に骨を折りつつあるは、北京のみならず、[illegible]使用せらるるに[illegible]各所の道普請に、使用せられ[illegible]

[illegible]予は浙江の省長齊耀珊氏に面會の折、其の注意の周到なるを謝したるに、氏は謙遜して、[illegible]旅客をして、便利を感せしめたり。[illegible]予は支那の總てに於て[illegible]支那流の無頓着、不親切、[illegible]を見たるにあらず。其の改善の兆の[illegible]も可なり。[illegible]予は支那の[illegible]進歩の[illegible]を斷悔せざるを得ず。

（六）日本教師の退去と日本語の驅逐

[illegible]北京は勿論、如何なる地方[illegible]日本人教師[illegible]日本人にして、支那の教師は、[illegible]日本人の教師を必要とせざるに到[illegible]

在鄕軍人會の發展策（一）

官民の努力を望む　高橋經次郎

第一　在鄕軍人會に對する觀念

[illegible]

第一　在鄕軍人會とは如何なるものか

[illegible]陸軍現役を終りたる者並に第二國民兵役に在る者並に陸軍將校同相當官准士官を以て組織し其の目的は[illegible]

どうして　布施生譯　四十一

[illegible]

館試抄（門素人療法）

[illegible]

漢詩投稿歡迎

本社は今回東都詩壇の巨擘[illegible]城[illegible]堂氏に漢詩の批評を委託し以て更らに新春の紙上を飾り聊か斗[illegible]詩壇の振興を計らんとす振つて投稿あらん事を希望す但し忘機吟社も今日迄の通り紙上に掲載すべし

◎廣告

撫順炭各地販賣價格（持込賃共）

地名	炭價	價格（一噸）	十四噸一車	販賣人及販賣人代理店
平壤	塊炭	一三、〇〇	一七、〇〇	三國商會代理店 平松商店 三井物產代理店 中村組
鎭南浦	切込炭	一一、〇〇		西村商會代理店 濱本商店 牧野昇
元山	粉炭	一〇、〇〇		西村商會代理店 小泉商店
仁川	塊炭	二〇、九〇	一六、〇〇	野口商會
仁川	切込炭	一九、五〇		
仁川	粉炭	一八、九〇		
龍山及	塊炭	二二、〇〇	一七、〇〇	三國商會代理店 西崎商店 近藤商店 實榮商會
京城	切込炭	二〇、〇〇		西村商會 同代理店 井上商店
	粉炭	一九、〇〇		
大田	塊炭	二二、五〇	一七、〇〇	大田運輸會社
大邱	切込炭	[illegible]		三ケ尻忠吾
	粉炭	一九、五〇		

◎常に御得意先の御便利を念と致居り候も兎角炭車貨車共依然困難にて兎もすれば石炭の缺乏を來し思ふ樣に參らざるは遺憾に致候

◎京城仁川に於ては近く毎月販賣する約一萬噸の石炭を[illegible]

◎[illegible]

◎[illegible]大正七年一月十三日

南滿洲鐵道株式會社 鑛業部京城販賣課出張所

必ず各家庭に備ふべき寶典

大正七年 國民年鑑

四六版八百頁　定價金六十五錢　郵税八錢

面目一新 好評如湧 忽にして第壯版

論より證據年と與に進歩改善せる本書内容實質の如何に完備したるを見よ

發行所　民友社

賣捌所　京城日報社代理部　京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

取次所　大阪屋號　巖松堂　ウツボヤ書店

日本行貨船積禁止
棉花を除く＝滯貨十萬噸

南太平洋、サンタフエ、西太平洋の三鐵道會社は日本行棉花の外輸出貨物全部の船積みを禁止せり目下桑港鐵道終點に於ける滯貨は約二十萬噸に達す（桑港電報）

談判再び破裂
▽中歐側更に審議

露都電報＝露國側講和委員はブレスト、リトフスクより政府に宛て打電して曰く主要なる點に關する談判は遂に破裂したり之が爲め露國の民主的主義は破壞さるるに至る可し獨墺及其の他の中歐側は波蘭人リスニア人及びアルメニヤ人等を虐ぐる事無くして講和を締結するの可能なりや否やに就き再び審議す可しと（倫敦電報）

露國債全部廢棄
▽國有財産高等會議發表＝大藏省短期公債のみ有効

露都來電＝國有財産高等會議は前帝制時代及び中産階級の兩政府に依りて發行されたる國債全部及び外人所有に係る内國債全部を廢棄する旨發表せり即ち大藏省發行短期公債の有効なる外全部絶對に廢棄されたるなり（倫敦電報）

カ將軍小露を援助
▽小露政府の決心

カレヂン將軍は直ちにドン哥薩克の大動員を爲し歩兵隊を編成しレウクライナ政府と聯合して過激派軍に當らんとし「レーニン」政府は必勝を期して討伐軍を派遣せるも[illegible]の命を奉ぜざる部隊尠からずウクライナ政府は若し敗軍する如き事あらんには聯合國に對し保護を請ふ可しと（倫敦電報）

南北兩軍の陣容

宜昌附近に對峙せる南北軍の勢力は倪嗣沖氏の歩兵七千、山砲八門、機關銃七門、小銃七千にして之等は一箇師團として編成せられ居れり湖南軍は官都に一千餘、漸口に五百餘、襄陽に一千五百名あり又荊門の下流には湖北軍約五千此附近に更らに湖南軍一個師團あり之に對し[illegible]軍は四千の兵を襄陽に派し猶其附近に七千の兵と砲廿門を配備したり（北京特電）

南軍英艦船砲擊

十一日英國砲艦一隻が英汽船を護衛して宜昌に向ふ途中南軍砲擊したるに對し英艦之に應酬し無事通過するを得たり（北京特電）

植民地特別會計豫算

今期議會に提出さるべき大正七年度特別會計豫算左の如し（東京特電）

▲朝鮮總督府（單位千圓）

▽歳入經常部	四三、一〇〇
臨時部	二一、四〇二
合計	六四、五〇二
▽歳出經常部	三六、三四五
臨時部	二八、一五六
合計	六四、五〇二

▲臺灣總督府

▽歳入經常部	四六、三九九
臨時部	八、八六一
合計	五五、二六一
▽歳出經常部	三九、五六[illegible]
臨時部	一五、六[illegible]
合計	五五、二[illegible]

▲關東都督府

▽歳入經常部	三、五一[illegible]
臨時部	三、〇三六
合計	六、五五三
▽歳出經常部	三、九三六
臨時部	二、六一六
合計	六、五五三

▲樺太廳

▽歳入經常部	二、三八八
臨時部	六七二
合計	三、〇六〇
▽歳出經常部	一、五一六
臨時部	一、五四三
合計	三、〇六〇

英公債募集か

帝國政府は本月中旬頃英國公債を募集す可く[illegible]（東京特電）

兵器供給調印濟み
▽近く輸送を開始す

事情の爲め一時中止中なりし支那に對する兵器供給問題は最近再開始されたる事は既電の如くなるが右は前述に於て支那政府と我當局者との間に交渉完了し十一日契約調印濟となりたれば近く兵器の輸送を開始す可し其數は秘密に附せられあるも小銃約四萬挺[illegible]門にして此の代價は[illegible]組合が支那政府に代りて支拂ひ[illegible]支那政府は[illegible]

外交調査初會

[illegible]は後廻はしとなるべし（東京電報）

臨時外交調査會新年初會議は十五日午前十時より霞ケ關にて開會寺内總裁以下各委員幹事出席本野外相より支那及び露國に於ける最近外交上の經過報告あり午餐を共にし午後五時迄協議を續け重要事項を審議せり（東京特電）

緬甸米穀禁輸

緬甸政廳は特許に依るの外米の輸出を禁ずる[illegible]（東京特電）

湖南形勢混沌

上海來電＝湖南岳州襄陽の形勢混沌たり内地各地[illegible]絶し市況閑散を極む（大阪特電）

宮原男薨去

[illegible]（東京特電）

中村副總裁視察

[illegible]（東京特電）

德川書記官著鮮

外務書記官德川家正氏一行は十四日夜來京大和ホテルに一泊の上十六日京城驛にて任地へ向ふ筈なり（本社特電）

國庫證券由來
總督府理財課　野坂事務官談

[illegible]

▲同法の規程は[illegible]

滿鐵職制改正の要點
主眼は鮮滿鐵道の統一
滿鐵理事　久保要藏氏談

▲會社職制は[illegible]

▲理事長直轄[illegible]

▲主管課[illegible]

鳥港形勢
案外平穩なり

[illegible]

露國大藏證券

[illegible]

一割八分九厘

[illegible]

諸稅徵收成績

[illegible]

仁川日支交歡會

[illegible]

辭令

十二月二十七日附を以て左の通り辭令ありたり

[illegible]

鮮鐵成績

[illegible]

陸軍服役令改正

[illegible]

簡閱點呼施行

[illegible]

佛外相態度強硬
佛國外相ピシヨン氏は下院に於て[illegible]

米海軍支出豫算

[illegible]

大阪財界通信

[illegible]

薩長 濤 酒

廣島縣人會幹事

牛乳

桐生 世界の大機業地なり 產地直賣

陣營具入札

謹告 本日より大樽一樽に付 金二圓也値上

寒中 御見舞申上候

今日此の頃のお寒さに 毛布 羽根蒲團

內科 小兒科 呼吸器病 胃腸病 喘息 リユマチス 山田病院 院主 山田萬作

火災豫防と消防 消防新聞社

移轉御披露 小倉佛具店 店主 小倉治三郎

○愛蘭の自治運動

愛蘭自治期成同盟會は一般投票に依り愛蘭の獨立を決す可く運動を開始し同問題を平和…

○在支獨人退去の提議

去る十二日駐支英國公使は協商國側公使を代表し外交部に依託して獨逸人の陰謀を禁…

父王殿下の御先導にて王世子殿下の三殿御展謁

文武百官御引見

李王世子殿下 十五日石造殿に於て

李王世子殿下は十五日午後二時…部長官、中樞院勅任參議以上…務總長、市川軍參謀長、金久保…團長、廣瀨軍經理部長、佐藤軍…長以下佐官以上の在京城武官並びに…濃部銀總裁、久保滿鐵管理局長、川上東拓理事、原田…德壽宮大漢門より參殿せる文武官の數は百二十名及び外國領事四名にして一同何れも石造殿階下の接見室へ招かれ茶菓の饗應を受けて退出したるは午後三時過ぎなりし

歡喜湧く 趙子爵邸

錦を飾つて歸つた令息少尉

始し涙に暮れる祖母＝飽かぬ抱擁に涙 身の愛＝寢顔を守つて一夜を明かす＝

李王世子に扈從し參らせて十三日夜歸京したる趙子爵令嗣趙大鎬少尉は未だ一歲の時生母吳氏に死別されたため祖母の朴氏は少尉を綿に包んで育て上げ漸く片言交りの二歲の歲を迎へると趙子爵が

●日本に亡命 したため家運は支離滅裂となり朴氏は少尉を抱いて艱難流浪の身となつた其後子爵は既に歸鮮して大臣の榮冠を戴き昨日に變る榮耀を一身に集めた家庭も漸く春に蘇ると少尉は父子爵の膝下に懷しむ暇もなく

●李王世子殿下の御學友 として東京に留學する事となつた爾來幾星霜の功空しからず今回少尉に任官して歸京するとなるや祖母の朴氏は齡も八十を越えたれば最早生きて逢ふ事も來まじと思ひ惱んで居た折から十三日飛び立つ計りに喜んで今日か明日かと指折り數へて歸京の日を待ち侘れて居た斯くて愈々其日となれば親族一同を應接間に集めて自身は中央に座し一刻千秋の思ひで歸宅を待つ程に少尉も錦を飾つて歸る

趙重應子爵令息趙大鎬氏（陸軍步兵少尉）

嬉しさの中にも父子爵の病症を案じ頰ひつゝ宅すれば祖母の朴氏はやをら少尉に抱きついて物も得言はで只嬉し涙に暮れるのみで父子爵が病床から起き出でて應接間へ

●お身の幼い時は

に入り來れば『世子は私の子だ、お身は體に觸つては不可い』と…諭かし…飽かぬ抱擁に涙…千字本を教へた事もあつたが…懷舊談に耽つた後…書物を勉强した…

●自身の寢室に臥ませ…寢顔を守つて…一夜を明かしたとの事なり

學校始業時間改

二十六日より十時半に…昨今の嚴寒に依り小學兒童の通學困難を慮ばかり…學校當事者は父兄側の…一般世人の等しく認識せる所なる事…より直ちに實行することに議決せり…

大潮昏倒す

病氣は腦充血

新進の人氣力士大潮は五日目正面離廻の客席にて相撲見物中午後二時半頃突然昏倒せるを以て陸奥屋の兄弟弟子等駈けつけ直ちに其の赤十字救護所に擔ぎ込み手當を受けさせたるところ病名は腦充血にて卒倒する際後頭部を强打し腦震盪を起し數時間安靜を必要とする旨言ひ渡されたり依つて同力士を能樂堂の一室に横臥させたるに大潮は師匠陸奥に向ひ斃れても今日は角力を取るとて肯かざれば其の志を壯とし協會役員に申…

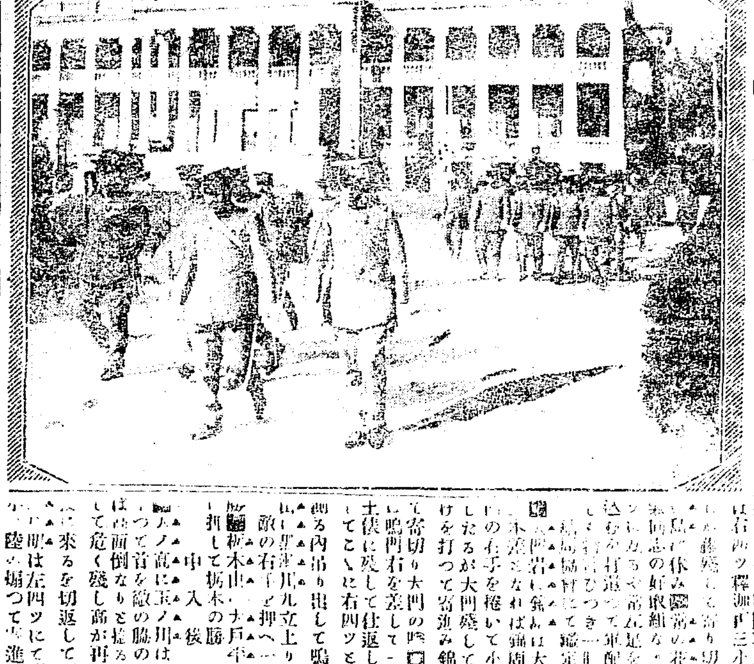
朝鮮寺院の貧民救助

…十本山事務所に臨時會を…貧民救助に付協議…

撞球競技會

京城俱樂部…撞球競技會…

●貧民救助金 金二圓及古著…



接見を終へて

…世子は十五日午後…時から三時まで…石造殿にて文武官や民間有力者に御引見になつた

春場所六日目

五日目

（星取表）[illegible]

△六日の取組

宮城山に千葉崎…伊勢ノ濱…

△大潮休場 △敷島休場

春場所星取表

（表中○勝●負×分△預）

[illegible]	[illegible]

酒界之覇王新著荷

新年の御慶目出度申納候御得意皆々樣益々御清祥の段奉賀候每度格別の御引立を蒙り難有御禮申上候扨て時なたる御高評を給はり候金釜銀釜品切の處總入荷品揃仕候間倍舊御用命仰被下度此段伏而御願申上候

萬國銘酒特約店 鮮滿一手發賣元

京城黃金町一丁目 三巴支店 淺松太郞

學農社の農業雜誌

冬季には是非 凍らぬ水 飛行機印粉劑消火器は 熊平支店

奧野他見男著 新刊 哀しき坊ちやんか

最新刊 新譯韓非子

大阪屋號書店

鑛物各種分析 田部分析所

年金恩給 江州屋本店

恩給 立替 西村商會

譲店 五百圓

貸家 小森商店

外交員募集

店員二名入用

京城案內

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第百廿二回　編笠浪人（十六）

『主膳樣〳〵』と寢た主膳が肱を枕にうと〳〵と寢たかと思ふと、桐島が枕元から呼び覺ました、びツくりして刎ね起きて

『何事でござる〳〵』と問ひ掛ける

『外ではございませんが、わたくしあなたへ折入つてお願ひがございます』

『手前へ？お願みとは心得難い』

主膳は坐り直して顔色箱の一刀を引き寄せた

『お願ひと申すは其處でございます。不躾ながらわたしをお供にお伴れ遊ばしては下さいませんか』

桐島は思ひ切つて斯う云つて、疊の塵をひねつて居た

『何と仰せらる』と主膳は驚いて目を瞬つた

『こゝにわたくしの魂がございます』と先刻の短刀を取り出して主膳の前へ置くと共に、其處へ兩手を支いて『これをあなたに獻じます。どうぞ、わたくしを紀州へお伴れ下さいまし』

『下女端女とも思召して、旅の御用を御仰せ付け下さいまし。お願ひでございます〳〵。わたしに他しふのない證據は、斯うして魂をお預け致すので。御推量下さいまし。命のある限り、御奉公が致したうございます』と思ひ込んで云ふ。

その詞には千よりもまだ重かつた。

『お心は推諒致す。なれど何を申すも旅の天、殊には三界に家もなく、諸所方々をさまよひ歩く浪人の、何として侍使ひなどを伴ひ參ることが爲きやう。これはかり思ひ止まつて下され』

『では、お國へ下さらないのでございますか』

『惡しからず思召せ。斯樣には申しても、さほど悠長な身ではござらぬ』

『是非がございません、此の願ひが協はずば、生きて居る甲斐もない。お見捨て下さいまし。母の記念で一思ひに死んで了ひます』と云つて短刀を取り上げて、危く鞘を拂はうとした

『父はまだ踏りません。この様子では明日の消息もあるまいと心得ます』

『或は爾うかも分らぬの』

『先刻御家來から、お銀子をお惠み下さいました。お情は嬉しう受けます。然し主膳樣、斯樣に微祿は致しましても、以前は槍一筋の主でござります。假し、餓死を致すとも、他樣のお情に生きたいとは思ひません』

『いかさま〳〵。お物堅いお心では、左樣思召すも無理ではない。失禮は御免下され。向後御遣ひをお致さぬやう、宗之助へよく申し附け置くでござる』

『爾う被仰つて戴いては恐れ入ります。先刻承はりましたところでは、これから紀州路へお越しのやうでございますね』

『ちと志すことがござつて』

『言語道斷、和御殺されば御鞘…父が在すでないか』

『父は行方が知れません。昨夕から今日まで消息の無いのは、わたくしを振り捨てゝ遁逃致したのでございませう。假し、それでございませんでも、わたくしを一所に居りましては、父の心の改まる日はあるまいと存じます。明けても御酒、暮れても御酒、その間々には賭くる恐しい辻切をして、その日〳〵を送つて參る。天道の御罰、佛様の御罰、將來が思ひ遣られます。昨夕もお話し申す通り、淵川へ身を投げて、父の心を矯め直さうと存じたことも、一度や二度ではございませんが、つい心を迷はされて惜しくない命を永へました。斯うしてお知己になりますのも、前世の御縁でございませう』

牛乳　京城東四軒町　御用　岡野牧場　電話一〇六九番

無病長壽を希ふ人よりて　人參エキスを　先づ一方に健全也

新築落成　京城明治町二丁目　入院隨意　喜勝病院　院主　佐々木杏造　電話一六五九番

松の内の歌　齊木多四郎

[illegible]　角田霞司

日報俳壇　多雜詠

嶋の間に群るゝ千鳥や冬霞　山茶坊
酒樽干す輝船ある冬日南哉　同
佛具師の居間に拝む爐燵哉　同
大雪の中に煙らす小家哉　同
老僧の白衣に炭の挨り哉　同
茶器捨てゝ箱を炭はねる　同
鴨啼いて請書に眺り冷えし膝　同
本堂に一つ冴ゆる佛の灯　同
埋火や疎林に風の高鳴る夜　同
韓尾僅に剥ぎ痿る柱暦哉　同
大寺の古き壁畫や煤拂　同
洛葉掻く鐘樓守の唄へるや　同
林間に光る流れや月冴ゆる　同
流氷柱岩を支へて日數哉　味川
溶の氷柱を筋違に登る鑿哉　同
冬の日や窓に集る物の影　同
番數多冬の日を切る秫哉　同
藥焚けば道暖く畑冬日哉　同
蔑織る庭の挨や干菜　同

大阪株式時間　十五日　前場　後場　[illegible]

大阪　切米　[illegible]

十五日の三月限　[illegible]

下　期米　[illegible]

眞夜中の二時　貴女のお足は　冷へては居りませんか？

お就寝の時にドンナに冷たいお腹やお足でも、お夜具に温味が出るにつれて段々温かになつてスヤ〳〵とお安眠が出來るのでありますが、もし夜中までドッとも温かにならなく寒氣がして腰や手足がなくては眠られぬなどといふ御婦人は俗に冷性といふて血の循環の悪るい結果であります。

ですから中將湯の御愛用を

この婦人の御病氣には何はさておきお勧め致すのであります。中將湯の靈妙偉效が御婦人の血行を調へて、體溫を増し、疾病を治す作用のあることは今更茲にくど〳〵申しませんでも現に毎日全國數百萬人の御婦人方が實驗してお居での事實でございます。

全治効能　子宮病　血のみち　下腹痛み　腰加冷え　頭痛　婦人神經　産前産後　逆上頭痛　月經不順　胸痛　こしけ　ひきつけ

（定價）二日分　二十五錢　四日分　五十錢　一週間分　八十錢　二週間分　一圓五十錢　三週間分　二圓二十錢　五週間分　三圓七十錢

加減藥あり容態詳しく申し込まれよ

◎無代進呈　封入して御申込次第「婦人の手引」を誰人にも差上げます

東京日本橋區通四丁目　津村順天堂本店　電話本局二六三三番　振替東京六〇八番

大阪市南區大寶寺町　津村順天堂支店　電話南二五五番　振替大阪四五六番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城　朝鮮銀行　電話（總務部）〇〇〇三（營業部）一二六、一二〇、一三一、六一、二三六

支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾濱、傅家甸、龍井村

出張所　右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

日鮮會話精通　西村眞太郎著

定價金壹圓參拾錢　七百餘頁

本書は同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす。朝鮮語の數は實に八千以上なり。朝鮮の語詞に適譯を附したるもののみにして五百有餘頁、内鮮人間に膾炙する俚諺の適譯計六百。本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり。幸に一本を机上に備へて御愛讀の榮を賜らむことを祈る

發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

攝津灘　大塚醸造所吟製　金露　京城本町二丁目　發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

イケダ小兒科内科醫院　京城　二見屋肥後前入る旭町四丁目　電話（醫院）三二三番（自宅）三〇〇番　池田小兒

銚子港　田中玄蕃醸造　ヒゲタ醬油　代理店　京城明治町一丁目　山邑京城支店　電話八四九番　振替貯金京城七五番

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告

仁川出帆

神戸大阪行（群山寄港）大智丸　一月十四日　午五時出帆

木浦、釜山、羅原、郷ノ浦、長崎行　安東丸　一月十五日　後二時出帆

安東丸　一月十三日　後二時出帆

大連行　安東丸　一月廿一日　正午出帆

安東丸　一月廿七日　正午出帆

横濱行　△湘丸　一月十一日　正午出帆

元山出帆

西湖津、新浦、城津、清津行　宮島丸　一月　日　後十二時出帆

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　宮島丸　一月十七日　後九時出帆

大連出帆

上海、基隆、打狗行　湖北丸　一月十四日　前六時出帆

基隆丸　一月　日　後四時出帆

内地各港出帆（略）

南米行　毎月一回

濠洲行　毎月一回

北米行　毎月二回

孟買行　毎月二回

南洋行　毎月一回

御注意　外國航路ノ時間ハ五分前ニ出帆ス…

大阪商船株式會社仁川支店　電話五〇番

京城代理店　電話二〇番

仁川京城通切符發賣

朝鮮郵船　出帆

本社　電話…

京城釜山行　…

[illegible]